

承認済み

ウクライナ大統領の命令により

2020 年 9 月 14 日付 No. 392/2020

ウクライナの国家安全保障戦略

人間の安全保障・国の安全保障

I. ウクライナの国益の優先事項と国家安全保障の確保、国家安全保障分野における国家政策の目標と主な方向性

1. 個人、その生命と健康、名誉と尊厳、不可侵性と安全は、ウクライナにおける最高の社会的価値である。ウクライナ憲法のこの規範の実施は、国家安全保障政策の主な目標です。

2. 我々は、ウクライナを自由で繁栄し、安全な国家、法が支配し、国家が市民と社会を保護し、誰もが自分の才能と能力を実現し、人々がきれいな空気を吸い、きれいな水を飲み、きれいな水を飲み、彼らは私たちの子供と孫を運命をつなぐでしょう。

3. ウクライナは平和を求めています。平和はウクライナの発展の鍵です。平和を確立し、国際的に承認された国境内でウクライナの主権と領土保全を回復することは、国家の最優先事項です。

4. ウクライナの国家安全保障戦略（以下、「戦略」という）は、次の基本原則に基づいている。

抑止 - ウクライナに対する武力攻撃を防止するための防衛および治安能力の開発。

持続可能性 - 特に外部および内部の脆弱性を最小限に抑えることにより、社会と国家が安全保障環境の変化に迅速に適応し、持続可能な機能を維持する能力。

相互作用 - 主に欧州連合と NATO およびその加盟国であるアメリカ合衆国との主要な外国パートナーとの戦略的関係の発展、ウクライナの国益に基づく他の国家および国際機関との実用的な協力。

5. ウクライナ憲法と「ウクライナの国家安全保障に関する」ウクライナ法によって定義された基本的な国益を考慮すると、ウクライナの国益と国家安全保障の確保の優先事項は次のとおりである。

独立と国家主権の防衛。

国際的に承認されたウクライナの国境内での領土保全の回復。

社会開発、主に人的資本の開発。

ウクライナ市民の権利、自由、正当な利益の保護。

ヨーロッパとユーロ大西洋の統合。

6. これらの優先事項の実施は、以下の分野で確保される。

国際法に基づいて、ウクライナのドネツクおよびルハーンシク地域の一時占領地域における平和、領土保全、および国家主権の回復。

ロシア連邦によるクリミア自治共和国とセヴァストポリ市の違法な占領を終わらせることを目的とした、国際法、政治外交、安全保障、人道のおよび経済的措置の実施；

ロシア側の紛争の激化を防止し、緊張を緩和し、ロシア連邦による武力攻撃を終結させることを保証するものとして、防衛および抑止措置の継続的な実施、交渉形式の積極的な利用、およびロシア連邦に対する国際的圧力の強化。

国連、欧州評議会、OSCE、およびその他の国際機関の利用可能なすべてのメカニズムを使用して、ロシアの侵略に対抗し、ウクライナの領土保全と国家主権を回復するためのウクライナへの国際的支援を強化する。

アメリカ合衆国、グレートブリテンおよび北アイルランド連合王国、カナダ、ドイツ連邦共和国、フランス共和国、近隣およびその他の州、ならびに国際機関との関係を発展させて、国際的な安全を確保し、共通の共通点に対抗する課題と脅威を排除し、ウクライナへの影響を最小限に抑えます。

一方ではウクライナと、他方では欧州連合、欧州原子力共同体およびその加盟国との間の連合協定の完全な実施、および包括的な見直しの結果に基づく、必要に応じたそのパラメーターの近代化。欧州連合におけるウクライナの完全な加盟国を獲得することを目的として、第481条に従って協定の目標を達成すること。

NATO におけるウクライナの完全なメンバーシップを獲得することを目的とした、北大西洋条約機構との特別なパートナーシップの開発；

ウクライナ軍、その他の治安・防衛部門の能力を強化する。

国民経済の持続可能な発展とヨーロッパの経済空間への統合。

特に教育と科学、医療、文化、社会的保護の近代化を通じて、ウクライナの人的資本を発展させる。

個人、社会、国家を犯罪、特に腐敗から保護し、侵害された権利の回復、損害の補償を保証する。

環境の安全を確保し、特に敵対行為の影響を受ける地域で、人命のための安全な条件を作り出し、効果的な民間防衛システムを構築する。

現代のセキュリティ環境におけるサイバー脅威に効果的に対抗するために、国家サイバーセキュリティシステムの能力を強化する；

官民パートナーシップの発展。

## II. ウクライナの国家安全保障と国益に対する現在および予測される脅威。外交政策と国内情勢を考慮

7. ますます多くの人々が、気候変動と自然環境に対する人為的負荷の増大の結果を経験しています。自然および人為的な緊急事態の数と規模は増加しています。生態系は枯渇しつつあり、再生不可能な資源の消費が増加しています。生態系と生物群集が破壊されています。人口に対する生物学的要因の悪影響が増加しており、生物学的起源の脅威の可能性が高まっています。既知の感染症と新しい感染症の両方の出現と拡大の脅威は高いです。

8. 不平等が拡大しており、世界の発展におけるその他の根本的な不均衡が続いています。グローバル経営の効果的なツールを形成することは不可能です。

9. エネルギーやバイオテクノロジーを中心とした急速な技術変化、人工知能分野の発展などにより、経済や社会全体が根本的に変化します。社会生活のあらゆる分野における情報技術の役割は急速に拡大しています。兵器システムは、量子、情報、宇宙、極超音速、バイオテクノロジー、人工知能、新素材の作成、ロボット工学、自律型ドローンの分野の技術を使用して、新しい物理原理に基づいて開発されています。

10. グローバリゼーションの現代モデルは、特にサイバースペース、麻薬密売、人身売買、宗教的およびイデオロギー的原理主義と過激主義、海外からの分離主義、不法移民、収益の合法化(ロンダリング)における国際テロと国際犯罪の蔓延を可能にしました。犯罪の防止、大量破壊兵器の配布など

11. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の蔓延は、情報分野、医療、社会保護システ

ムにおける重大な問題を明らかにし、失業の増加を引き起こし、確立された生活様式を破壊し、食料安全保障を脅かし、自由を妨げています。資本、商品、労働力の移動は、サービス部門に損害を与え、最終的には社会の抗議ムードや国際関係の紛争を増大させます。

12. 世界の発展における根本的な格差を背景に、新型コロナウイルス病（COVID-19）の蔓延に対抗することを目的とした措置は、国連によると、最も深刻になる可能性のある新しい世界的な金融および経済危機をもたらしました 1929 年から 1933 年の「大恐慌」以来。第二次世界大戦後に作成された国際安全保障システムは、もはや現代の課題に効果的に対応することができません。

13. 文明発展の新しいモデルの形成の概要と傾向は、現在のところ定義されていません。州際連合や国際機関は変容しつつあり、保護主義と地域主義への傾向が強まっています。世界の状況とその発展の見通しは、高度の不確実性と予測不可能性によって特徴付けられません。

14. 世界のリーダーシップをめぐるアメリカ合衆国と中華人民共和国の間の競争は激化しています。国際競争は、政治外交、軍事、経済、情報心理学、およびサイバー手段など、国力のあらゆるツールの使用によって激化しています。その影響は、東ヨーロッパ、中東、北アフリカ、東南アジア、北極圏、およびその他の地域に現れています。

15. 大西洋とヨーロッパの統一への挑戦が増えており、既存の紛争のエスカレーションと新しい紛争の出現につながる可能性があります。ウクライナに対する武力攻撃を続けるロシア連邦は、この状況に乗じようとしている。

16. ロシアは、クリミアを占領した黒海・カスピ海地域を、バルカン半島、地中海、中東、北アフリカへの「架け橋」として利用している。ヨーロッパでの地位を強化するために、ロシア連邦はエネルギーと情報の「武器」を使用し、ヨーロッパ諸国の国内政治状況に影響を与えようとし、長期にわたる紛争を煽り、東ヨーロッパでの軍事的プレゼンスを高めています。

17. ハイブリッド戦争を継続しているロシア連邦は、ウクライナでの影響力を回復するために、政治的、経済的、情報的および心理的、サイバーおよび軍事的手段を体系的に使用しています。ロシア連邦の軍隊のグループとその攻撃力は強化されており、大規模な軍事演習がウクライナの国境近くで定期的に行われており、軍事侵攻の脅威が残っていることを示しています。一時的に占領されたクリミア自治共和国とセヴァストポリ市の領土の軍事化が進んでいます。ロシア連邦は、黒海、アゾフ海、ケルチ海峡の自由航行に脅威を与え続けています。

18. ウクライナのドネツクおよびルハーンシク地域の一部地域にあるクリミア自治共和国およびセバストポリ市の一時的占領地におけるロシア占領行政とロシア連邦軍は、人権と

自由を著しく侵害している。人々や市民の活動は、ウクライナやバルト黒海地域の他の州の安全を脅かしています。

19. 外国、主にロシア連邦の特別機関は、ウクライナに対する諜報活動と破壊活動を継続し、分離主義者の感情をあおり、組織化された犯罪グループと腐敗した役人を利用し、影響力の基盤を強化しようとしています。

20. ウクライナの内外からの破壊的なプロパガンダは、社会的矛盾を利用し、敵意を扇動し、紛争を引き起こし、社会的団結を弱体化させます。国家の包括的な情報政策の欠如、戦略的通信システムの弱点により、この脅威を無力化することは困難です。

21. 最新の（近代化された）モデルによるウクライナ軍および国防軍のその他の構成要素の現在の再装備率は、ソビエト製の主要なタイプの武器および軍事装備を交換する必要性を満たしていません。近い将来のリソース。財政資源の不足が拡大しているため、必要な量の最新の武器と軍事装備の生産と調達を確保するための資金の割り当てが複雑になっています。これは、ウクライナとロシア連邦の軍事的可能性の不均衡と相まって、新しい軍事安全保障戦略。

22. ウクライナの独立、その主権および民主主義に対する脅威の源は依然として国家機関の不十分な効率であり、効果的な政策の策定と実施を複雑にしている。

23. 幸福度の低さは、将来に絶望と不確実性を生み出し、暴力を引き起こし、開発を阻害し、後進性を維持します。政治的暴力や分離主義、違法な武装集団の活動、テロリズムの拡散の基盤となる過激な社会的態度や環境の定着は、特に危険です。犯罪は、人々、社会、国家の権利と自由、正当な利益を脅かします。

24. 改革と腐敗の不一致と不完全さは、ウクライナ経済の不況からの回復を妨げ、その持続可能でダイナミックな成長を不可能にし、脅威に対する脆弱性を高め、犯罪環境を助長します。

25. 財産権の不十分な保護、土地および下層土の利用を含む主要分野における市場関係の発展の遅れ、経済における公共部門の重要な役割、法律の不完全性および断片化が経済成長を抑制し、国内外の投資の誘致。

26. 特にエネルギー部門とインフラストラクチャーにおける不十分なレベルの競争と独占の支配、低いエネルギー効率は、ウクライナの競争力を低下させ、その市民の幸福を脅かしています。

27. 重要インフラへの脅威は、その技術的状态の悪化、その更新と開発への投資の欠如、その機能への無許可の干渉、特に物理的およびサイバー、進行中の敵対行為、および一時的な

占領に関連して激化しています。ウクライナの領土の一部。

28. 生活環境、空気、飲料水、食料の質が悪化し、人々の生活や健康に影響を与えています。

天然資源の不合理な利用、森林、水域、農地の劣化が続いています。家庭および産業廃棄物の管理システムは非効率的です。経済、生命維持システム、民間防衛を気候変動に適応させる可能性は十分ではありません。ドネツク州とルハンスク州の特定の地域で進行中の敵対行為と、環境と人々の健康に対するチェルノブイリ災害の影響の悪影響が残っています。

29. 人口動態の状況はますます脅かされています。出生率の低下、高い死亡率、特に乳幼児死亡率、人口の生殖に関する健康の問題、ヘルスケアの分野における体系的な問題、主に専門家や若者の移住、国家の安定、人間、経済的および軍事的可能性を秘め、ウクライナの将来を脅かしています。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の蔓延は、ヘルスケア、バイオセキュリティ、社会的保護の分野で全身的な問題を引き起こし、緊急事態への備えが不十分であることを示しています。

30. 外国人や無国籍者、特に移民の危険にさらされている国からの移民によるウクライナの移民法違反の数、およびこれらの人物の違法行為への関与が増加している。

31. 社会経済状況の悪化は、移民の増加を引き起こす可能性があり、それはウクライナからの経験豊富な資格のある専門家や若い才能のある人材の「流出」の増加につながる。

### III. 国益と安全を確保するための国家の国内外の政治活動の主な方向性

32. 国家の外交政策活動は、主に独立と国家主権を確保し、ウクライナの領土保全を回復することを目的としています。

33. ウクライナは、民主主義の規範と価値観に基づく国際秩序の強化に努めており、テロとの闘い、大量破壊兵器の拡散、国際犯罪、麻薬密売、人身売買、政治的および宗教的過激主義、不法移民に積極的に参加している。サイバー脅威、気候変動の悪影響、および自然および人為的な緊急事態の影響の防止と克服において。

34. 欧州連合および北大西洋条約機構におけるウクライナの完全な加盟国を獲得することは、国家の戦略的方針です。

このコースを実施するために、一方ではウクライナと、他方では欧州連合、欧州原子力共同

体およびその加盟国との間の連合協定の完全な実施とさらなる適応、国民経済の欧州への統合経済空間、EU加盟のためのコペンハーゲン基準へのウクライナの遵守の達成。

NATO との特別なパートナーシップを強化し、北大西洋条約機構の完全なメンバーシップを取得するために、ウクライナは次のことを計画しています。

可能な限り短期間で、同盟国の関連構造とウクライナ軍およびその他の安全保障および防衛部門の構成要素の十分な相互運用性を達成する。

ウクライナ・NATO 委員会の後援の下での年次国家計画の実施の枠組みの中で、NATO 加盟基準の遵守を達成するために実施されなければならない改革を大幅に強化する；

招待状を受け取り、NATO メンバーシップ アクション プランに参加します。

35. アメリカ合衆国、グレートブリテンおよび北アイルランド連合王国、カナダ、ドイツ連邦共和国、およびフランス共和国との包括的協力は、ウクライナにとって優先的な戦略的性質を有し、独立と主権の保証を強化することを目的としている、ウクライナの民主的進歩と発展を促進します。

36. 自国の国益を守り、地域の安全を強化するために、ウクライナは以下を発展させる：

アゼルバイジャン共和国、ジョージア、リトアニア共和国、ポーランド共和国、トルコ共和国との戦略的パートナーシップ。

他のバルト諸国および北欧諸国とのパートナーシップ関係、ならびに中央および南東ヨーロッパ諸国との緊密な善隣関係；

ベラルーシ共和国およびモルドバ共和国との実用的な関係；

黒海流域の安全を保証するための NATO 加盟国との実際的な相互作用。

37. ウクライナは、アジア、中東、アフリカ、南米の主要国と互恵的な経済協力を発展させる。

38. ウクライナは、制裁対象への影響の有効性を高め、国益への損害を最小限に抑えるために、制裁政策を改善するための措置を講じる。

39. 国家としての侵略ロシア連邦は、ウクライナの国家安全保障に対する長期にわたる組織的な脅威の源である。これには、国際法に基づいて、国際的に認められた国境内での侵略の停止とウクライナの領土保全の回復を保証する、ウクライナとロシア連邦との関係のモ

デルの導入が必要です。

40. ウクライナは、ロシア連邦との紛争のエスカレーションを防止するための措置を講じる予定であり、主にその潜在的な価格をロシア連邦が受け入れられないレベルまで引き上げることによって行われる。優先すべき方向は、防衛と治安能力の強化、ウクライナへの国際支援の強化、国際援助の効果的な利用、侵略者に対する国際的な政治的、経済的、法的圧力の維持である。

41. 国益、特にロシアによる侵略の停止、領土保全の完全な回復、ウクライナ市民および企業体の権利、自由および正当な利益の保護を確保するために、ウクライナはロシア連邦との交渉を行う。EU および NATO 加盟国からのパートナー、ならびに OSCE の仲介を通じて。

42. ウクライナは、一時的に占領されたクリミア自治共和国とセヴァストポリ市の市民の権利、自由、正当な利益を保護し、これらの地域の再統合、社会的保護、住民の支援のためのイニシアチブを実施する。クリミア・タタール人、カライテス、クリムチャクに属する個人の権利と自由を保護することは、これらの問題を国際的な議題に置き続けるでしょう。

43. ウクライナは、ロシア連邦に国際的な法的責任を負わせるため、国際法廷での法的活動を継続する。

44. 軍事安全保障の分野における主な任務は、潜在的な抑止力の開発です。無条件の優先事項は、戦闘能力を備えたウクライナ軍であり、準備が整い、意欲的な軍事予備軍であり、効果的な領土防衛であり、他の安全保障および防衛部門の機関の能力と相まって、敵にそのような容認できない損失を与えることができます。地上、空中、海上、そしてサイバースペースで、彼の攻撃的な意図の実現を不可能にします。国は、軍事安全保障を確保するための新しい教義的アプローチにおいて、ウクライナに対するハイブリッド攻撃、中東での軍事作戦の教訓を考慮に入れます。

45. 国家主権、領土保全、民主的憲法制度およびその他の重要な国益は、ロシア連邦および他の国家からの非軍事的脅威、特に内戦を誘発する試みからも保護されなければならない。法執行機関、特別機関、諜報機関、およびその他の国家機関の権限に応じた優先タスクは次のとおりです。

諜報および破壊活動、特殊情報作戦およびサイバー攻撃、ロシアおよびその他の破壊的プロパガンダに対する積極的かつ効果的な対抗措置。

分離主義、テロリズム、過激主義、違法な武装集団の活動の停止、政治的動機による暴力、その他の憲法秩序への侵害の防止、発見、停止。

ウクライナと世界の状況に関する完全に信頼できる予防情報を入手し、ウクライナの国家安全保障に対する外部の脅威に対抗し、ウクライナの国益の実現を促進する。

46.市民は安心すべきです。ウクライナは法の支配という憲法上の原則、法の前の平等を確立することを決意している。個人の法的責任と処罰の必然性に関する憲法上の原則を実施するために、国は次のことを行います。

国家的、人種的または宗教的な敵意と憎悪、国家の名誉と尊厳への屈辱、宗教的信念による市民の感情への侮辱、ならびに人種、肌の色に基づく権利の制限または特権の確立を扇動する試みに断固として反対し、政治的、宗教的およびその他の信念、性別、健康状態、民族のおよび社会的出自、財産状況、居住地、言語またはその他の特徴。

断固として人道的侵略に反対し、ウクライナ国家を統合し、そのアイデンティティを強化するための基礎としてウクライナ文化を発展させる。

特にウクライナの一時的占領地で犯された犯罪の捜査に関連する刑事訴訟の任務、ならびに国家の安全と防衛を確保するための措置の実施の分野における法執行機関による履行を確保することドネツクおよびルハーンシク地域におけるロシア連邦の武力侵略を撃退し抑止すること。

汚職に対するゼロ・トレランスの原則を確立し、汚職を防止し、汚職犯罪と闘う機関の効果的な運営を確保する。

透明性、国家機関の説明責任、公務員の誠実さ、司法への効果的なアクセスを確保し、刑事犯罪の公判前調査、刑事訴訟の司法審査、および裁判所が課した刑罰の執行を改善する。

ウクライナの国境の保護、排他的(海上)経済水域におけるウクライナの主権的権利の保護、および移民の分野における国家政策の有効性を高めること。

47. ウクライナは、国家の強靱性システムを導入して、社会と国家が幅広い脅威に対応するための高いレベルの準備を確保する。これには以下が含まれる。

リスク評価、脅威のタイムリーな特定、および脆弱性の特定。

効果的な戦略計画と危機管理、特に、NATO の勧告を考慮した、危機的状況と回復に対応するための普遍的な議定書の実施。

脅威の防止と対応、および緊急事態の影響の克服における、治安および防衛部門、その他の国家機関、領土共同体、ビジネス、市民社会、および住民の効果的な調整と明確な相互作用。

この分野で必要な知識とスキルの普及。

国家機関とウクライナ全土の住民との信頼できる通信経路の確立と維持。

48. 国は、対象者の明確な責任分担と官民パートナーシップに基づいて、重要なインフラストラクチャのセキュリティと安定性の効果的なシステムを作成します。

49. ウクライナは、以下を通じて包摂的な政治対話を発展させる。

戦略的通信システムの作成;

社会開発の現在の問題について公の場で議論し、社会におけるメディア文化のレベルを上げ、専門的職務を遂行しながらジャーナリストの安全を保障する。

人口に情報サービスを提供する分野における競争の発展。

50. 国家は、主に安全保障、外交政策、社会、規制など、必要な機能のみを実行する必要があります。法執行機関、税務当局、税関当局は、特に事業を行うことに関して、市民の権利、自由、および正当な利益を保護します。ウクライナは地方分権プロセスを完了し、有能な統一領土共同体を形成しなければなりません。

51. ウクライナは、デジタル変換を実施し、最新の情報技術を使用して安全な「単一窓口」を通じて行政サービスを提供し、デジタルリテラシーを広める。

52. サイバーセキュリティシステムの開発の主な任務は、特にデジタルトランスフォーメーションの状況において、国家情報インフラストラクチャのサイバー耐性とサイバーセキュリティを保障することです。

53. 市民の繁栄と安全を保障するためには、外部資源の関与と効果的な利用により、持続可能でダイナミックな経済成長を確保できる資源が必要である。これには、次のものが重要です。

市場競争を発展させ、経済の非独占化と経済関係の明確化を確実にする。

財産権を保護します。

規制緩和を確実にし、ビジネスへの圧力を防ぎます。

投資、特に外国の投資を誘致するための競争条件を作り出す。

金融システムの持続可能な機能、金融政策の一貫性を確保し、国内金融機関への信頼レベルを高めること。

司法組織に関する法律を改善し、公正な正義を確保すること。

科学の発展のための有利な、特に財政的な条件を作り出し、科学および研究インフラストラクチャーの開発を保証し、科学者と官民のセクターとの効果的な相互作用を保証し、革新を刺激し、特に分野で最新の技術を導入するセキュリティと防衛、ヘルスケア、産業、エネルギー、機械工学、農業、建設とインフラ、スポーツ、情報と電気通信。

航空および宇宙産業の発展を、民生および防衛目的のハイテク製品の生産に大きな可能性と機会をもたらすものとして促進する。

人々と環境の安全を保証するために、新しい技術を使用するための信頼できる制御メカニズムを決定し、実装します。

土地関係を改革し、農地の流通を導入し、土地資源の計算を合理化するための措置を実施し、農工業団地の環境に配慮した開発と食料安全保障を確保する。

道路、鉄道、パイプライン、空港、海港、河川港などの輸送インフラを近代化すること。これには、官民パートナーシップのメカニズムを含め、透明な民営化を実施して、企業の近代化と発展への国内外の投資を誘致する必要があります。、経済における労働生産性の成長を促進する。

54. 持続可能なエネルギー開発なくして、経済発展と安全保障は不可能です。このために、次のものがあります。

ウクライナのエネルギーポテンシャルの拡大とその利用の効率化に貢献すること。

ウクライナのエネルギー市場を EU のエネルギー市場に統合する。特に、ウクライナのユナイテッド エネルギー システムを送電システム オペレーターの欧州連合 (ENTSO-E) に統合し、ウクライナのガス輸送システムをガス輸送システムの欧州ネットワークに統合する。運営者 (ENTSO-G) は、ウクライナの通過可能性を維持し、拡大し、国家のエネルギー安全保障に悪影響を及ぼすプロジェクトの実施に反対する。

エネルギー資源の供給源と供給経路を多様化する。

エネルギー効率を高め、エネルギー資源の生産、伝達、使用の継続的な計算を実施し、国のエネルギーバランスを実施し、最新の状況を考慮して、持続可能な開発と環境安全の条件下で燃料およびエネルギー部門のさらなる開発を確保する再生可能資源からのエネルギー生

産とその貯蔵の技術。

55. ウクライナは海と川の国です。その可能性を実現するために、我々は航行の自由を保護し、黒海とアゾフ海、ドニプロ川とドナウ川の資源の有効利用を促進し、商船隊とウクライナ軍の海軍を発展させる。

56. 環境の安全、特に人間環境の安全は最優先事項の 1 つです。ウクライナの領土で生態学的バランスを維持するための条件を作成し、共同インフラストラクチャを近代化し、環境保護を強化し、最新の廃棄物管理システムを実装し、産業排出物を削減し、天然資源の効果的な利用を確保し、森林と貯水池を保護し、準備金を開発する必要があります。自然および人為的性質の緊急事態の否定的な結果の出現を防ぎ、それらを排除します。

57. 人的資本はウクライナの未来の鍵です。その開発には、次のものが重要です。

ウクライナで雇用を創出する。

就学前および完全な一般中等教育のシステムを近代化するために、広報

#### IV. 安全保障と防衛部門の改革と発展の方向性と課題

58. 潜在的な抑止力を開発するために、ウクライナは、NATO の規範、原則、および基準に従って、防衛および安全保障の改革を加速する。安全保障と防衛部門の包括的なレビュー、部門別およびその他のレビューの結果に基づいて作成される、国家安全保障と防衛の分野における計画文書は、実用的かつ具体的な内容を持つでしょう。

59. 兵士、軍曹、将校、治安・防衛部門の従業員、退役軍人は国家の注目の的となる。ウクライナ軍およびその他の治安および防衛部門の機関は、リーダーシップの学校になります。軍人の公民権の侵害や、特に性別に基づく差別は許されません。

60. ウクライナは、次のことにより、ウクライナ軍およびその他の国防軍組織の戦闘能力を強化する。

戦闘準備と戦闘能力のレベルを上げる；

部隊（部隊）の訓練の質と強度を向上させる。

教義的アプローチと NATO の指揮統制、訓練、教育の原則に基づく職業文化の変革。

管理システム、電気通信、インテリジェンス、ロジスティクスの最新技術に基づく改善と開発。

兵役の専門化、領土防衛および予備軍の開発。

動員訓練と動員のシステムの近代化、ならびに徴兵前訓練と若者の軍事愛国教育；

サービスの法的、物質的、心理的、社会的条件の改善。

武器や軍事機器の新しい、特にハイテクなサンプルを装備する。

共同任務を遂行するためのすべての安全保障および防衛部門機関の相互作用を強化する。

女性と男性の平等な権利と機会を確保するという国家政策の効果的な実施。

61. 防衛産業複合体は、ウクライナの軍隊、武器および軍事装備におけるウクライナの安全保障および防衛部門の他の構成要素のニーズに対応し、技術、生産能力、人的資源の開発に投資し、投資を引き付けます。 、共同国際プロジェクトに参加し、国の民間パートナーシップの可能性を実現し、経済成長の原動力として機能します。

62. 国家は、防衛産業複合体の輸出の可能性の強化を促進し、経済の防衛および関連部門に近代的な技術を引き付けることを目的として、外国のパートナーとの軍事技術協力を強化する。共同事業と新しい仕事。

63. 国家安全保障に対する脅威からウクライナを組織的に保護するためには、安全保障および防衛部門の発展が必要である。 このために、ウクライナ：

ウクライナの安全保障および防衛部門に対する民主的な文民統制を強化し、その構成要素の活動の合法性と有効性を保証し、管理の効率を高め、監督を強化し、当局者および安全保障および防衛部門機関の当局者の責任を強化する。

国家安全保障と国防の分野における法律の見直しと実施の確保、特に「ウクライナの国家安全保障に関する」ウクライナ法の規範の明確化と実施。

セキュリティおよび防衛部門の機関の活動を効果的に管理および調整するシステムを作成し、そのアーキテクチャを改善します。

対諜報活動と国家機密の保護の分野で特別に認可された国家機関として、ウクライナの安全保障局の構造、機能、および数を最適化し、テロ活動と戦う国家システムの主要機関である。警告し、ウクライナの安全に対する外部および内部の脅威をタイムリーに検出し、それ

らを防止し、外国の特別サービス、ウクライナの国家安全に関する組織、個人グループ、および個人による諜報活動、テロリスト、およびその他の違法な侵入を阻止し、排除するそれらに寄与する条件とその発生の原因;

効果的な諜報コミュニティを作成し、国家安全保障と防衛の分野における国家政策の実施におけるその役割を強化し、諜報機関の活動の調整と管理のシステムを強化し、諜報能力を開発します。

国家サイバーセキュリティシステムの構築を完了し、サイバーセキュリティおよびサイバー防御エンティティの最新の機能を形成し、それらの調整システムを強化します。

法律で定められた州当局および公務員の州による保護を改善します。

ウクライナ国家警察の体系的な改革を確実にし、刑事警察と公判前捜査機関を強化する。特に、組織犯罪と国境を越えた犯罪との闘いの分野において。

EU加盟国の経験を考慮して、ウクライナ国家警備隊の発展を確実にし、割り当てられた任務を遂行するための組織的能力を強化する;

公共の安全のために、分析コンポーネントを備えた複雑なビデオ監視システムの開発と使用を組織します。

国境保護システムの開発と改善、特にヨーロッパの国境警備基準の実施、統合された国境管理の体系的な開発のためのウクライナの国家機関と軍事組織の調整された活動を確保する;

構造と管理（調整）システムを改善することにより、民間防衛の国家システムを最適化し、あらゆる性質の緊急事態に関連する脅威への対応を改善し、平時および特別期間中のタスクを明確にする。

外国人および無国籍者に行政サービスを提供するプロセスを自動化し、外国人および無国籍者がウクライナの法律を確実に遵守できるように、国境および州内での移民管理を強化します。

## V. 戦略の実施に必要なリソース

64. 納税者の資金を効果的に使用するために、ウクライナの国家予算は、ウクライナの予算コードによって決定された方法で、ウクライナの国家安全保障および防衛評議会によって検討される、安全保障および防衛部門への支出を規定する。 .

65. ウクライナは、透明性を高め、近代的な財政管理を実施することにより、ウクライナの国家安全保障を保証するために使用される、財政の安定の強化、予算資金、国際援助、および法律で禁止されていない他の資金源からの資金の効果的な使用を確保する。

最終規定

66. 戦略は、国家安全保障と防衛の分野における以下の計画文書の開発の基礎であり、それはその実施の方法と手段を決定する：

人間開発戦略；

ウクライナの軍事安全保障戦略；

ウクライナの公安と市民防衛の戦略；

ウクライナの防衛産業複合体の開発戦略；

経済安全保障の戦略；

エネルギー安全保障戦略；

環境安全保障と気候変動への適応のための戦略；

バイオセーフティおよび生物学的保護戦略；

情報セキュリティ戦略；

ウクライナのサイバーセキュリティ戦略；

外交政策活動の戦略；

国家の安全を確保するための戦略；

統合された国境管理戦略；

食料安全保障戦略；

国家情報プログラム。

67. ウクライナ国家安全保障防衛評議会とウクライナ閣僚会議は、ウクライナの憲法と法律

によって定められた権限の範囲内で、戦略の実施を調整し管理する。

#### 68. 国立戦略研究所:

安全保障と防衛部門の包括的なレビュー、国家安全保障と防衛の分野における計画文書の草案の準備のための科学的および方法論的支持を提供します。

戦略の実施の分析に基づいて、ウクライナの国家安全保障の状態に関する年次報告書を作成します。

69. ウクライナ閣僚会議は、ウクライナの防衛能力と国家安全保障、公の秩序、および犯罪との闘いを確保するための措置を実施する際に、この戦略に導かれている。

70. 市民社会は、戦略の実施に関する国家当局の活動を公的に管理する。

ウクライナ A. イェルマク大統領府室長

国際的に承認された国境内でウクライナの主権と領土保全を回復することは、国家の最優先事項

主に独立と国家主権を確保し、ウクライナの領土保全を回復することを目的としています。

脅威の源 国家としての侵略ロシア連邦

ウクライナへの国際支援の強化、国際援助の効果的な利用、侵略者に対する国際的な政治的、経済的、法的圧力の維持

ウクライナはロシア連邦との交渉を行う。 EU および NATO 加盟国からのパートナー、ならびに OSCE の仲介を通じて。

EU や NATO の仲介により、ロシアとの交渉しても、領土回復でできないと思われる。

ここには、最も重要な領土回復の手段は示されていない。

だから、ゼレンスキーが NATO を引きずり込んで、領土回復をしようとしていることは、疑いようがない。実際、制空権確保の要求や、戦車、戦闘機など武器支援のエスカレーションがそれを示している。

外部依存しか手段はないから、

## ロシアを検索

ロシア連邦によるクリミア自治共和国とセヴァストポリ市の違法な占領を終わらせることを目的とした、国際法、政治外交、安全保障、人道のおよび経済的措置の実施;

ロシア側の紛争の激化を防止し、緊張を緩和し、ロシア連邦による武力攻撃を終結させることを保証するものとして、防衛および抑止措置の継続的な実施、交渉形式の積極的な利用、およびロシア連邦に対する国際的圧力の強化。

国連、欧州評議会、OSCE、およびその他の国際機関の利用可能なすべてのメカニズムを使用して、ロシアの侵略に対抗し、ウクライナの領土保全と国家主権を回復するためのウクライナへの国際的支援を強化する。

15. 大西洋とヨーロッパの統一への挑戦が増えており、既存の紛争のエスカレーションと新しい紛争の出現につながる可能性があります。ウクライナに対する武力攻撃を続けるロシア連邦は、この状況に乗じようとしている。

16. ロシアは、クリミアを占領した黒海・カスピ海地域を、バルカン半島、地中海、中東、北アフリカへの「架け橋」として利用している。ヨーロッパでの地位を強化するために、ロシア連邦はエネルギーと情報の「武器」を使用し、ヨーロッパ諸国の国内政治状況に影響を与えようとし、長期にわたる紛争を煽り、東ヨーロッパでの軍事的プレゼンスを高めています。

17. ハイブリッド戦争を継続しているロシア連邦は、ウクライナでの影響力を回復するために、政治的、経済的、情報的および心理的、サイバーおよび軍事的手段を体系的に使用しています。ロシア連邦の軍隊のグループとその攻撃力は強化されており、大規模な軍事演習がウクライナの国境近くで定期的に行われており、軍事侵攻の脅威が残っていることを示しています。一時的に占領されたクリミア自治共和国とセヴァストポリ市の領土の軍事化が進んでいます。ロシア連邦は、黒海、アゾフ海、ケルチ海峡の自由航行に脅威を与え続けています。

18. ウクライナのドネツクおよびルハーンシク地域の一部地域にあるクリミア自治共和国およびセバストポリ市の一時的占領地におけるロシア占領行政とロシア連邦軍は、人権と自由を著しく侵害している。人々や市民の活動は、ウクライナやバルト黒海地域の他の州の安全を脅かしています。

19. 外国、主にロシア連邦の特別機関は、ウクライナに対する諜報活動と破壊活動を継続し、分離主義者の感情をあおり、組織化された犯罪グループと腐敗した役人を利用し、影響力の基盤を強化しようとしています。

39. 国家としての侵略ロシア連邦は、ウクライナの国家安全保障に対する長期にわたる組織的な脅威の源である。これには、国際法に基づいて、国際的に認められた国境内での侵略の停止とウクライナの領土保全の回復を保証する、ウクライナとロシア連邦との関係のモデルの導入が必要です。

40. ウクライナは、ロシア連邦との紛争のエスカレーションを防止するための措置を講じる予定であり、主にその潜在的な価格をロシア連邦が受け入れられないレベルまで引き上げることによって行われる。優先すべき方向は、防衛と治安能力の強化、ウクライナへの国際支援の強化、国際援助の効果的な利用、侵略者に対する国際的な政治的、経済的、法的圧力の維持である。

41. 国益、特にロシアによる侵略の停止、領土保全の完全な回復、ウクライナ市民および企業体の権利、自由および正当な利益の保護を確保するために、ウクライナはロシア連邦との交渉を行う。EU および NATO 加盟国からのパートナー、ならびに OSCE の仲介を通じて。

43. ウクライナは、ロシア連邦に国際的な法的責任を負わせるため、国際法廷での法的活動を継続する。

45. 国家主権、領土保全、民主的憲法制度およびその他の重要な国益は、ロシア連邦および他の国家からの非軍事的脅威、特に内戦を誘発する試みからも保護されなければならない。法執行機関、特別機関、諜報機関、およびその他の国家機関の権限に応じた優先タスクは次のとおりです。

特にウクライナの一時的占領地で犯された犯罪の捜査に関連する刑事訴訟の任務、ならびに国家の安全と防衛を確保するための措置の実施の分野における法執行機関による履行を確保することドネツクおよびルハーンシク地域におけるロシア連邦の武力侵略を撃退し抑止すること。